

平成28年度予算見積調書（9月補正予算）

課室名 観光課
担当名 観光・物産振興担当

内線 3952

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B1	物産観光ブランド確立支援事業			一般会計	商工費	観光費	観光費	彩の国観光振興推進費			
事業期間	平成28年度～平成32年度	根拠法令	なし	戦略項目		分野施策 050103 魅力ある観光の推進					
<p>1 事業の概要</p> <p>本県の観光地を包括的経営体として捉えて諸事業の管理運営を行う「観光地経営」の視点にたつて、物産観光協会がDMO候補法人としての役割を果たし、観光地域づくりを推進する。</p> <p>協会の構成員である宿泊施設、物産店、鉄道会社などの観光事業者に加え、文化、スポーツ、商工・農林・環境事業者、地域住民等多様な関係者を巻き込み、観光振興によって地域住民の誇りと愛着を醸成する。</p> <p>(1) 物産観光ブランド確立支援事業 34,828千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 日本版DMO候補法人に登録された(一社)埼玉県物産観光協会が取り組む各種事業及び運営に係る経費について補助する。</p> <p>(2) 事業計画 ア 専門職員の配置・DMO運営体制の整備 ⑦ 地域ブランディング、プロモーション、財務・会計に優れた専門職員の配置 ⑧ PDCAサイクルで業務を進めるための組織づくり ⑨ 関係者との合意形成をするための仕組みづくり ⑩ 物産観光戦略策定のための基礎調査委託事務 ⑪ キックオフイベントや人材育成の企画・運営 イ 物産観光戦略の策定に向けた各種データの収集・分析 ⑦ 本県を観光地としての視点で精査 ⑧ 他観光地との優位性が見込める体験メニューや物産についてのテストマーケティング・ニーズ調査 ウ 県内物産観光人材の育成 ⑦ キックオフイベント（観光先進地に学ぶ） ⑧ 物産観光人材の育成講座の実施</p> <p>(3) 事業効果 ア 物産観光関連産業や多様な関係者のネットワークによる「観光地経営」に向けての機運醸成 イ 日本版DMOにとって不可欠となる物産観光戦略策定のための基礎情報の明確化</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 日本版DMO候補法人である(一社)埼玉県物産観光協会を中心に埼玉県及び県内市町村、観光関連団体、観光関連事業者、交通事業者、金融機関等と連携し物産観光戦略を策定するとともに、事業を実施していく。</p>							
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)事業者0											
3 地方財政措置の状況 ソフト事業のうち5割は、標準的な経費として普通交付税により、残りの5割については事業費に応じて特別交付税により措置											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員なし											
要求額・審査額		国庫支出金					一般財源	補正後の予算額	当初予算額	現計予算額	
決	34,828	17,414					17,414	34,828			
要	34,828	17,414					17,414	34,828	うち一財	うち一財	
現	0						0				

【審査のポイント】

観光地域づくりの中心となる日本版DMO構築に向けた支援の必要性を認め、要求額を措置した。